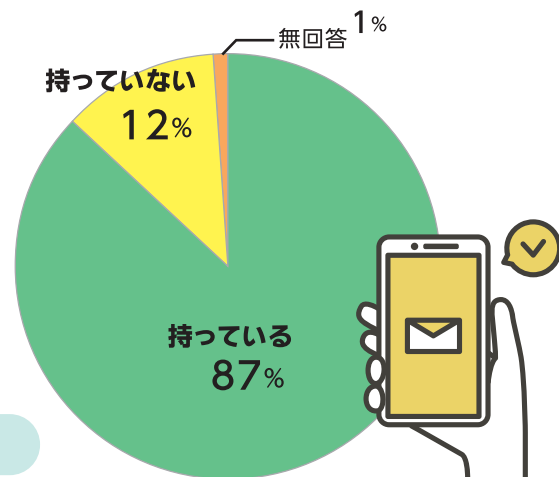


スマートフォンは約9割が所有!

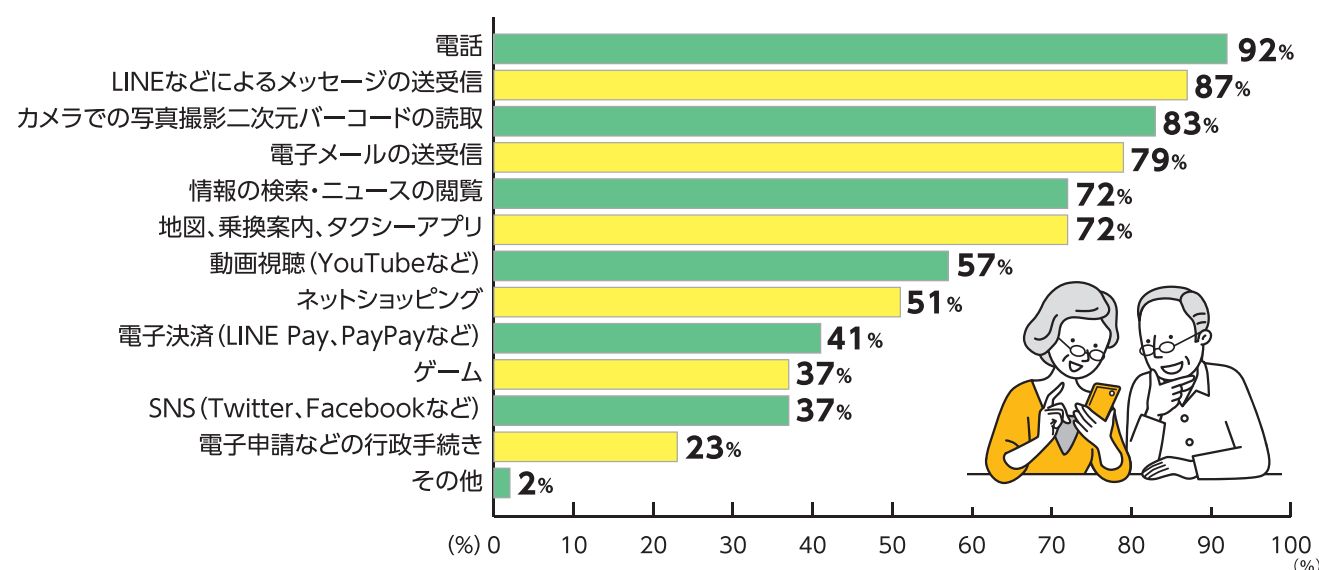
問18 あなたは、スマートフォンをお持ちですか?

スマートフォンの所有率は、87%の方が持っているという結果となりました。年代別では、10～60歳代で90%を超え、10～30歳代は99%という結果となりました。70歳代は80%、80歳以上は50%と過半数になっています。



問18-2 スマートフォンのどのような機能を使っていますか?

「電話」は全ての年代で使用されています。全体的に年代が上がるにつれて、使用機能は減少傾向です。特に「動画視聴 (YouTubeなど)」や「SNS (Twitter、Facebookなど)」は、10～20歳代と70歳代以上では他の項目と比べ差が大きくなっています。



コラム DX戦略について

横浜市では、横浜DX戦略を策定し全庁的にDXの推進を図っています。その中で、港南区はデジタル区役所モデル区として選定されており、区役所として積極的にデジタル化を進めています。

実際に、港南区では行政手続等のスマートフォン等からの申請や窓口の予約などの取組を始めています。

また、スマートフォンに不慣れな方に向けた教室の実施などについても取り組んでおり、誰一人取り残さないデジタル化の実現を目指します。

横浜DX戦略

検索



●詳細な報告書は、区ホームページや区役所、地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスにてご覧いただけます。

【区民意識調査URL】 <https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/tokei/ishiki.html>

●小数点以下を四捨五入しているため、グラフの合計が100%にならない場合があります。

発行日: 令和5年1月
発行: 港南区総務部区政推進課企画調整係 〒233-0003 横浜市港南区港南四丁目2番10号
電話: 045-847-8328 FAX: 045-841-7030



区民意識調査

令和4年度

港南区区民
意識調査結果

(概要版)

港南区役所では、区民の皆様のご意見を活かした区政運営を進めるため、区民意識調査を3年に一度実施しています。

今回は、前回調査を令和元年(2019年)5月に実施して以降、令和2年(2020年)明けから世界規模で流行し始めた新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛、地域活動などへの影響を受けた中での調査になりました。調査項目としては、新たにスマートフォンの利用状況等をお尋ねし、多くの区民の皆様からご回答をいただきました。

調査概要

- 調査対象: 港南区区内にお住まいの18歳以上の方4,000人(40人の外国籍区民含む)
- 抽出方法: 住民基本台帳から無作為抽出
- 回収数等: 2,009票(回収率50.2%)
- 調査期間: 令和4年5月18日～6月20日
- 調査方法: 郵送による配布・回収 ※回収は電子申請・届出システムも併用

1 定住意向

港南区に住み続けたいと思っている方は8割

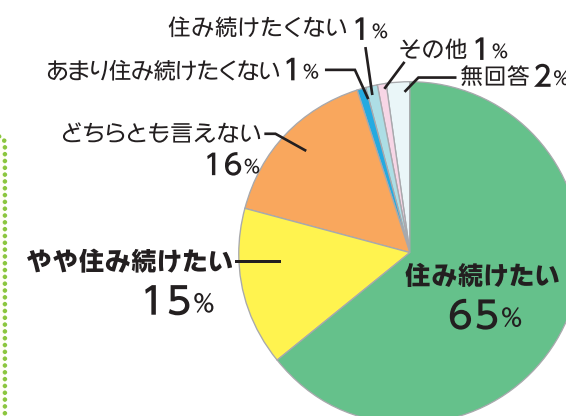
前回調査(令和元年度)に続き、「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が80%に上り、多くの方に暮らしやすいと感じていただいています。

コラム お住まいの地域の生活環境について

お住まいの地域の生活環境に対する調査では、皆様の日常生活の満足度を測るため、「まちなみ・環境」「福祉・保健」「教育・文化」「生活」の分野について、お尋ねしています。

前回調査と比較して、「まちなみ・環境」「福祉・保健」で「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の割合は増加または同等でしたが、「教育・文化」のイベントや講座、「生活」の防犯対策等の項目は減少しました。

F11 これからも港南区に住み続けたいと思いますか?



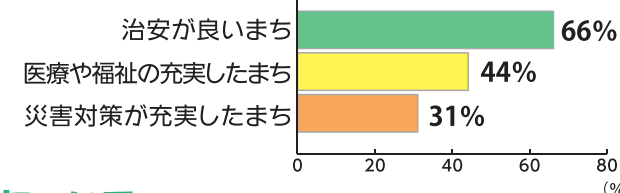
2 区の将来像

区民が望むのは安全・安心に暮らせるまちづくり

問22 港南区が将来に向けて、どのような方向に発展していくことが望ましいと思いますか?(3つまで:複数回答)

区の将来像の上位3項目は平成23年度調査以降から今回まで変化がありません。

多くの方が港南区に「住み続けたい」と考えていることもあり、安全・安心に暮らせるまちづくりを求めている声が多く寄せられました。



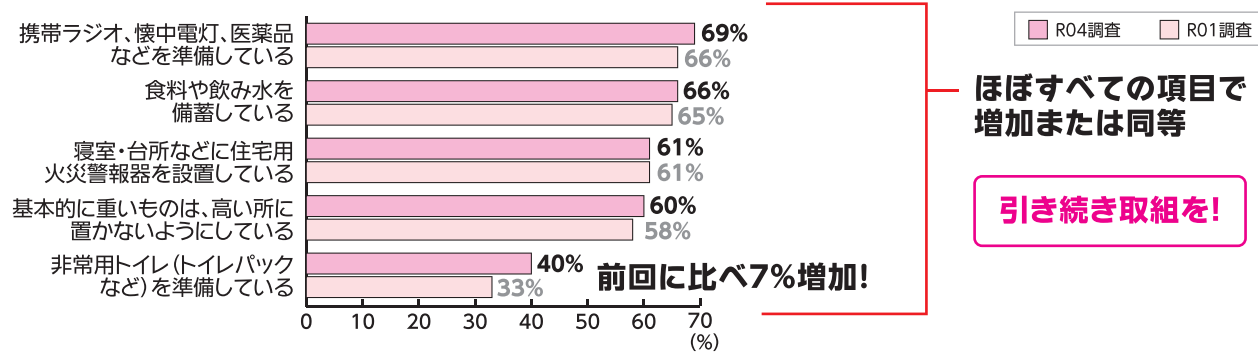
コラム 関心のある・充実させてほしい情報について

区役所から発信される情報のうち、関心のある情報や充実させてほしい情報は「防災・防犯に関する情報」が前回比+11%となる67%で最多となり、安全・安心に暮らせるまちへの関心が高まっていることが読み取れます。

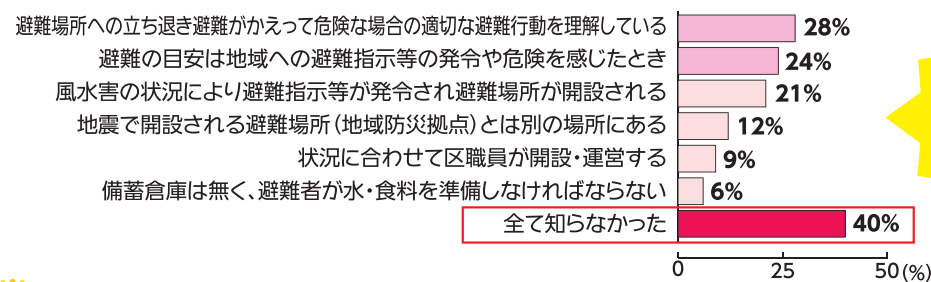
続いて、健康・医療に関する情報(54%)、福祉サービスに関する情報(40%)となりました。

家庭における災害への準備意識は着実に向上

問2 あなたの家では、災害に備えて、どのような対策を取っていますか？(複数回答)



問5-2 大雨・洪水・台風で開設される避難場所について知っていますか？(複数回答)



コラム 震災時と風水害時の避難先の違いについて

市内で震度5強以上の地震を観測した場合、地域主体の運営委員会が中心となり市内の小・中学校に避難所(地域防災拠点)を開設します。一方、風水害時は気象状況により避難指示等が発令された際(可能性があるとき)に、状況に合わせて区職員が地区センターなどの避難場所を開設しますので、区からのお知らせにご注意ください。マイ・タイムラインを活用し、避難の目安を確認しましょう。なお、風水害避難場所には水・食料が無いいため自宅からご持参ください。

港南区 地震 避難場所



港南区 大雨 避難場所

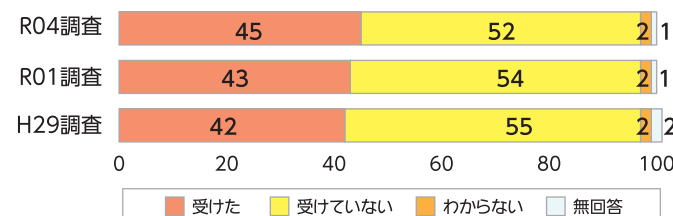


がん検診の受診率は45%

問9 あなたは令和元年度から令和3年度にがん検診を受けましたか？

がん検診の受診率については、前回から2%増加し、平成29年から増加傾向にあります。

また、80歳以上を除く全ての世代で、男性に比べて女性の受診率が上回っており、女性の方ががん検診への関心が高い傾向にあります。



コラム がん検診について

がんは長い間、脳血管疾患、心臓病とともに、三大死因の一角を占めており、生涯、2人に1人は何らかのがんになるとも言われています。がん検診のメリットには早期発見・早期治療によるがん死亡率の減少が挙げられます。

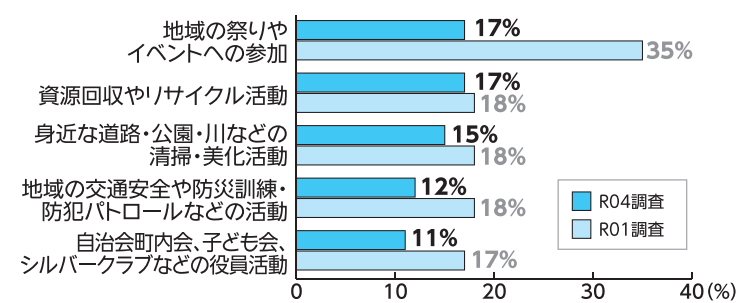
がんの早期発見のためには、「症状が出てから」ではなく「症状が出るより前」に検査を受ける必要があります。最近では、コロナ禍による受診控えが見られますが、がん検診は不要不急のものではありません。症状が出ていないからといって油断をせず、定期的ながん検診を受けることが大切です。

横浜市がん検診



地域活動への参加は減少

問10ア お住まいの地域で、この1～2年の間に行った活動は何ですか？(複数回答)



この1～2年の間に行った活動については、前回調査と比べると、すべての項目で減少または同等となりました。

一方、重要度が高いと考える活動については、参加経験を上回る項目が多く、地域活動の役割が期待されています。



ハマサン 83太郎

コラム 港南ひまわり83運動について

港南ひまわり83運動は、「散歩や庭先の掃除、買い物など外での用事を、小学生が登下校する時間帯(8時と3時)を目安にしましょう」という活動で、地域の見守りとして広がっています。

港南ひまわり83運動



食品ロス削減の取組は大幅に増加

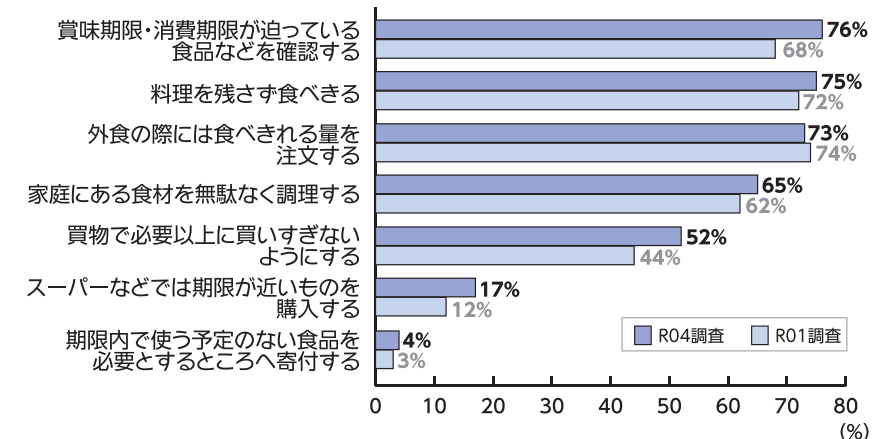
食品ロス削減の取組については、約7割の方が上位3項目に取り組んでいることが分かりました。

また、前回調査と比較して、全7項目中6項目が増加しました。特に、買い物で取り組める項目は大幅に増加しました。

賞味期限
2023年0月0日



問16 食品ロス削減の取組のうち、現在行っているものは何ですか？(複数回答)



コラム フードドライブについて

フードドライブ活動とは、食品を必要としている人へ支援を行い、食品を通じ地域や企業がつながる【接続可能な食の循環】の取組です。各家庭の未使用食品(賞味期限が2か月以上・常温保存可能なもの)を持ち寄り、フードバンク団体や地域の福祉施設などで活用します。港南区役所54番窓口で未使用食品を受け付けています。

横浜市フードドライブ



へら星人
ミーオ

「ヨコハマ3R夢」
マスコット イーオ